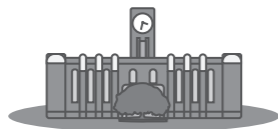


京大



トホケツナイ



—ある日の午後、編集室でのお話—

けやき（以下、け）：毎日電車で1時間半もかけて大学通うの、ほんましんどいわ。通勤電車はむさ苦しいし、金もかかるし……。

下宿生はエエよな、大学まで歩いて通える距離に家がある。

桃豆（以下、桃）：え、じゃあけやきの家からも「歩いて」通ってみようよ。

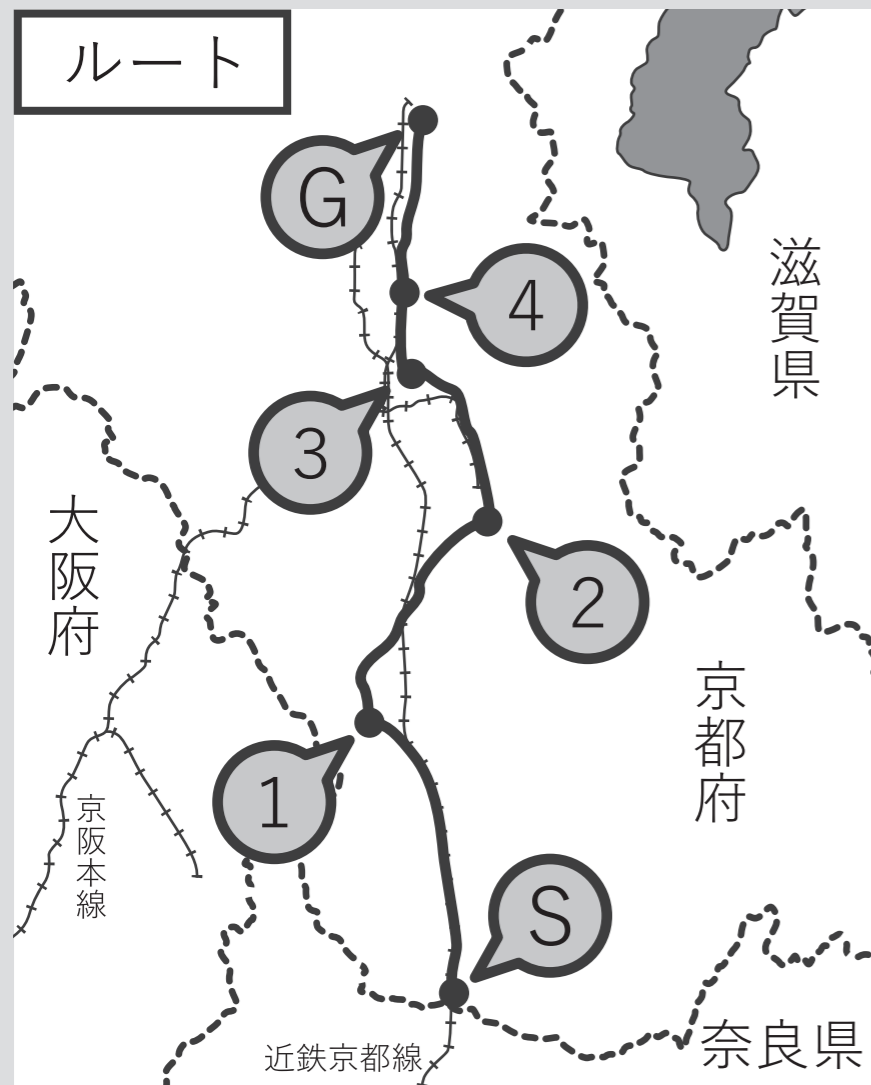
け：えっ。

桃：下宿生と同じように京大まで歩いて向かって、授業に間に合うか試してみようぜ！

け：えっ。

—ということで、けやきの家（京都府と奈良県の境）から歩いてみた—

ルート



自宅から大学まで歩くなんて機会はめったにないので、道中にある名所に立ち寄ることにした。目標は5限までに大学に着くことである。

ところで、けやきの自宅から大学までにかかる所要時間と交通費を、普段電車通学している場合と今回のように歩いた場合で比較すると、以下ようになる。もし読者の皆さんも歩くのであれば、ぜひとも参考してほしい。

🕒 所要時間

電車：約70分

徒歩：??分

📦 交通費

電車：770円

徒歩：**夕夕!!**

⑤ けやきの自宅



いよいよ出発だ！ 天候は今のところ良好。予報では昼から雨らしい。大学に着くまでもってけるといいんだが……。とにかく、無事に大学に辿り着けるようがんばるぞ。

② 平等院鳳凰堂



一休寺を出発し木津川を渡ると、雨がぽつぽつと降りだした。断続的に降る雨の中、市街地に入って平等院まで到着すると、抹茶の香りが僕らを出迎えてくれた。少し休もう。

④ 伏見稲荷大社



ボロボロの足に下り坂は……。京阪本線に沿って歩くと、大きな赤い鳥居が目飛び込んできた。が、稲荷大社の山を登ることもなく、写真を撮るとすぐに立ち去るのであった。

け：つ、着いた……。でも授業には間に合わなかったなあ。

桃：まあしょうがないよ。とりあえず、家まで帰るとしよう。

け：げ、これからまた自宅まで帰らなあかんのか……。明日の朝は布団から起き上がれそうにないな……。

—二人の挑戦は続く(?)—

はみだし
すてーじ

1限に間に合いません
⇒5限に間に合いません

① 一休寺



一休宗純が眠っている一休寺に立ち寄った。道中の「一休とんちロード」には一休宗純にまつわる逸話が随所にみられる。まだまだ序盤。弱冠二十歳の健脚で、軽やかに向かおう。

③ 伏見桃山城



しばらく北上すると、京都大学の文字が！……宇治キャンパスである。お前じゃない。さらに進むと上り坂となる。悲鳴をあげる足で登っていくと、立派な天守閣が見えてきた。

G 京都大学



さあ、あとは東大路通を北上するだけだ！すでに陽は傾いているが、棒のような足を前に出し続ける。そしてついに到着！が、辺りは真っ暗。授業も終わっていた。無念……。

08:30

08:45

授業開始

08:20

08:20

08:10

08:20

08:00

授業終了……

09:10

はみだし
すてーじ

甲子園をもっと近づけてください。
⇒ゆーて歩いて行ける距離じゃないですか（へらへら）

（法・2 gp）
（詳細は去年のらいふすてーじ11月号を読んでください；編）

（農・1 がっせ）
（公共交通機関は偉大でした；編）